尾 花 毅　　藤本一馬

8string guitar　　guitar

2025 10月01日（水）

開場　19:30

開演　20:00

（2ステージ入替無）（1drink 600 〜）

MC=3300＋2drinks order

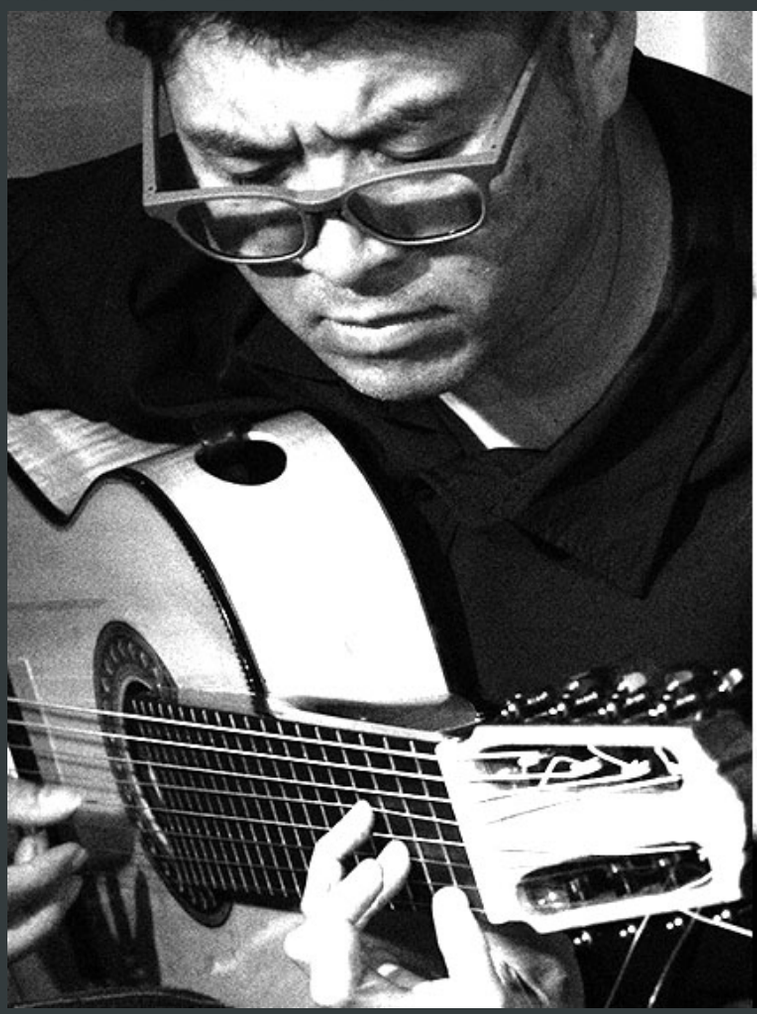
CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2 F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



尾花毅

幼少期をドイツで過ごしクラシックギターのレッスンを受け始める。学生時代は自作曲を演奏する。プログレッシブハードロックバンドにて都内近郊のライブハウスで活動する日々を過ごす。あるきっかけで耳にしたブラジル音楽に衝撃を受け、再びクラシックギターを手にする。様々なブラジルの音楽から影響を受けてきたが、7 弦ギターを手にしてからは特に古いサンバやショーロから多大な影響を受け現在に至る。7 弦ギターの特徴を生かし幅広い音楽を通して身に着けたプレイスタイルでクラッシック、JAZZ、ブラジルまで広範囲のユニットに参加する他、ブラジルから来日するミュージシャンのサポート等、数多くのライブをこなす日々を送っている。近年は自らが製作したマイクロホンを販売するブランド [OBANA Microfone] を立ち上げ、音にこだわりをもつミュージシャンに愛用されている。また使用している 7 弦ギターは実の父親が製作した楽器である。

藤本一馬

ギタリスト／作曲家。1998 年､ヴォーカルのナガシマトモコと共に音楽ユニット「orange pekoe」を結成。2002 年、アルバム『Organic Plastic Music』で各種音楽賞を受賞。2011 年よりソロ活動を本格化し、インストゥルメンタルを中心としたソロ名義の作品として『SUN DANCE』『Dialogues』『My Native Land』『FLOW』などを発表。また、国内外のさまざまなアーティストとのコラボレーションやライブ、楽曲提供、舞台、映像作品の音楽制作など、多彩な活動を展開している。メロディアスなオリジナル楽曲とリリカルなギター演奏を軸に、ジャズやワールドミュージックなど多様な音楽的要素をやわらかく融合させたスタイルは、ジャンルを越えて幅広いリスナーから支持を集めている。